

かわねほんちょう 議会だより

第12号

平成20年11月発行

発行/川根本町議会
編集/議会だより
編集委員会



徳山神楽



中学校文化連盟総合文化祭

もくじ

- 9月議会報告2
- 決算委員会報告3
- 一般質問4~8
- 議員視察研修報告9
- 議会日誌10

9月議会報告 (9/8~9/24)

第3回定例会が9月8日に開会され、提出された23議案中5議案と条例1件が初日に可決しました。1議案を第一常任委員会に付託して審査し、最終日の24日に、全員賛成で原案通り可決しました。

【条例関係】

- ① 川根本町手数料徴収条例の一部改正
- ② 川根本町集落センター等負担金徴収条例の一部改正
- ③ 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- ④ 川根本町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

補正額 457万2千円
補正後の総額 10億5,669万3千円

◎ 介護保険事業特別会
計(第1号)

補正額 1,088万6千円
補正後の総額 8億7,158万6千円

◎ 簡易水道事業特別会
計(第1号)

補正額 530万円
補正後の総額 2億5,250万円

◎ 一般会計補正予算
(第4号)

補正額 150万円の増額
補正後の総額 59億9,047万2千円

◎ 国民健康保険事業特別会計(第2号)

補正額 59億7,547万2千円

【人事関係】

◎ 人権擁護委員候補者の推薦について
瀧尾久志氏(瀬平) 再任

任期平成21年1月1日
～平成23年12月31日

澤本文男氏(田代) 新任
任期平成21年1月1日
～平成23年12月31日

◎ 固定資産評価審査委員会委員の選任について
相藤令治氏(元藤川) 再任

任期平成20年10月26日
～平成23年10月25日

◎ 教育委員会の任命について
松下昌平氏(桑野山) 再任

任期平成20年10月26日

【その他】

◎ 子育て支援を求める緊急署名に添った安心して子育てできる町づくりを行政に求める請願

鈴木多津枝議員が紹介議員となり、乳幼児医療費補助を中学卒業までに拡充すること等を求める請願が提出されました。この請願は第一常任委員会に付託され継続審議中です。

～平成24年10月25日
鈴木信子氏(上長尾) 新任
任期平成20年9月25日
～平成21年10月25日
以上の方々が同意されました。

第一常任委員会報告

委員長 鈴木多津枝

9月議会初日に第一常任委員会に付託された平成19年度島田市・北榛原地区衛生消防組合決算認定について、16日午後2時より審査を行い、採決の結果、全員賛成で可決しました。



田代環境プラザ

19年度末に解散した組合の打ち切り決算で、関係市町の議会の認定を求めるものです。

主な内容は未払い金、未収金を差し引いた1億932万円の余剰金を構成市町で按分するもので、当町には組合管理費分42万1千円、公債費分を含むごみ処理経費は674万2千円、消防費経費分368万9千円の合計1千58万2千円が戻るものです。

このような中で委員より余剰金はいつ戻るかとの質問があり、島田市の9月議会でも承

又、消防関係では、①3千685万5千円の自動車購入費の補助金は幾らか、②白羽山の無線基地局の借地料6千199円と同額が川根本町でも支出されているが、③は1千27万3千円の国補助があること、④は支払いが川根本町で行っているが、当組合より雑入で町に入っているとの説明がありました。



中川根中学校の生徒

決算特別委員会報告

委員長 杉本道生

本定例会で平成19年 災害倉庫に置いてあると
度川根本町会計決算認 の説明があった。

定について、決算特別

(出納室)

委員会に付託され、9
委員に付託され、9
月9日、10日、11日、
なり、かなり不便に
12日、16日の5日間審
なつたとの意見があつ
査が行われ、いずれも
た。

(議会議務局)

原案のとおり認定され
ました。審査の結果状
況の中で、意見、要望
等につきまして、主な
もの報告いたします。

「一般会計」

(総務課・管理課)

自治区の統廃合につ
いて、年度当初の区
長会でお願いをしたが、
小幡、洗富の一箇所だ
けで、今のところ回答
はないとの説明があつ
た。

(企画環境課・企画

観光課)

富、46軒分を区長宅へ
届け、小幡5軒分は郵
送しているとの説明が
あつた。
日本ふるさと会議負
担金80万円について質
問があり、山梨県早川
町の提案で品川にアン
テナショップがあるが、
現在は区画整理にかか
り、ビル解体で止まっ
ている。場所を探し
て、再会しても



湯彩香公園

80万円では入れないと
思うとの説明があつた。
(建設課・事業課)

原材料費については、
若者定住促進住宅に使
用する杉板で、事前に
購入し、防腐、防炎処
理した。2つの製材所
へ交代で発注しており、
町有林を使っていると
の説明があつた。

(生涯学習課)

放課後児童クラブは、
10月から試行的に実施
するとの説明があつた
が、人材確保はできた
のかとの質問に、健康
増進課の担当であるが

指導員3名を確保して
おき、常時は2名でみ
る。利用児童に応じて
指導員を増やすなどの
対応を考えているとの
説明があつた。

(教育総務課)

遠距離通学費補助金
の不用額について質問
があり、井川線、大鉄
を使っている生徒全額
実費補助なので、児童
生徒数の増減による変
動が大きいとの説明が
あつた。

(税務課)

不納欠損について質
問があり、すべて法人
で6社の倒産によると
の説明があつた。

(町民課・住民課)

住基カード19年度発
行は39件との説明が
あつた。

(産業課・事業課)

農林業センターの利
用状況について質問が
あり、18年度653人、19
年度千8人の利用があ
つたとの報告があり、

販売、利用実績につい
て資料が配布された。
(健康増進課・保健
福祉課)

母子家庭受給者証に
ついて質問があり、41
世帯に発行している
との説明があつた。

(特別会計)

(温泉事業)

温泉使用料の滞納状
況について質問があり、
現年度分20万8千円、
過年度分53万3千円
あるとの説明があつた。

(簡易水道事業)

坂京へ水を運んだの
はなぜかとの質問に、
渇水期に井戸の水位が
低くなり、水量不足と
なつたためとの説明が
あつた。

(国民健康保険事業)

葬祭費は一件5万円
で122件分であるとの説
明があつた。
(老人保健)



いやしの里診療所

所得ランク別人数に
ついて質問があり、資
料が配布された。
(いやしの里診療所
事業)

いやしの里診療所事
業医薬材料費について、
支出が少ないとの質問
に、診療所内の薬品の
みで、他は院外処方
であるとの説明があつた。



澤畑義照議員

問

●青部一沢間間の道路の拡幅工事の
推進状況について伺う

質問

青部一沢間間の道路拡幅については平成18年3月、平成19年12月の議会での質問に対して「2年～3年にかかって拡幅される」という町長の答弁をいただいております。今後さらに交通量も増加すると予想され区民も拡幅又は待避所を作ってほしいと強く要望している現状の中で、今後安全に通行できるようにするために、どのような対策を立てて拡幅を実現するのか伺います。



青部一沢間間の狭隘箇所

平成19年12月議会、一般質問において答弁しております。その要旨として、平成18年度は県に要望し、平成19年12月議会においては、県からも前向きな答弁をいただき狭隘箇所の拡幅について測量等を行い、その後2～3年かけて部分拡幅を行ないたいという県のお話を説明させていただき

質問

具体的について、どのように県の方へ要望するのか。

ました。青部バイパス 崎平一青部間の青崎橋が完成したことにより、青部一徳山間の利用性が増し、通勤者を中心に交通量が増加しております。また観光シーズンには地元の方を含め、国道の迂回路として利用されています。青部一徳山間はもとより、主要地方道川根一、寸又峡線につきましては、生活道路としての重要性もありますので、引き続き狭隘箇所の拡幅改良等の要望を県の土木事務所等にかけていきたくと考えております。青部一沢間間の道路は見通しが悪く車両のすれ違いができませんので、現在踏査した結果、3ヶ所ほど路肩部分を、改良すれば待避場が、確保できそうな場所がありますので土木事務所に改良の要望をしております。地元の方々あるいは通行車両に不便を来していることは十分承知しておりますけれども、県全体の道路財源が限られた中で、町としては、現在町内で実施されております3バイパスの早期完成が大きな目標でありますのでそれと兼ね合いを考えたうえで、県等に要望活動を粘り強くしていきたいと考えております。

質問

また厳しい財政の中で特に青部バイパスの早期完成を願っておりますので町民の方々のご理解もいただきたいと思っております。

町長 今後来年度の予算が本格化する秋に向けて最初の窓口である川根の支所に要望していきたいと考えております。

質問 全面的な拡幅ができないということになれば、待避所を早急につくっていただきたい。

町長 待避所の設置を県に要望し、地元の現案として、工事費のからならないような方策も考えながら何とか事業着手にこぎつけたいと考えております。

質問 通勤時間帯に通行車両の調査をしていただきたい。

町長 県に要望する時基礎的なデータは必要なので対応できる部分に対応していきたいと考えております。

答

○待避所等を県に要望し、事業着手にこぎつけたい



原田全修議員

●川根本町の行政改革は、役場内部の視点だけでなく、住民の立場にも立った改革を推進しようとしているか

問

質問 川根本町の「行政改革」について、外部組織の「町行政改革推進委員会」は、その提言書で行政への“意識改革”を促している。幾つかの事例を基にして行政の意識を質したい。

総合支所建設工事の入札に当たっては、地元建設業者が何故参加できなかったのか。

町長 本体工事は約1億6千万円の事業であるが、特定建設業（4千500万円以上の下請け契約）の資格を有すること、工事高が年間10億円以上の業者であるという選定基準に基づいたものである。

質問 地元の業者が参加できないということの問題だ。地元を活性化する方法としても現行の選定基準への問題意識を今の改革のときにこそ持って頂きたい。

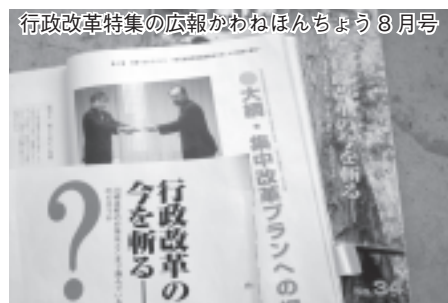
小規模工事について、当町の公共工事設計労働単価や経費の見方に問題がないか。所定労働時間を8時間以下に見ているようなケースはないか。

町長 工事設計単価については静岡県設計標準単価により設計しており問題は無い。

質問 町営バスの運行業務委託は、薄利多売の業者が低入札価格で落札し、結果的に地元の運転手の雇用条件悪化を余儀なくされているのではないか。

町長 町営バスの運転手の雇用形態については、受託事業者が労働基準法を遵守した形で実施していれば発注者としての問題はないと考える。

質問 本町の財政計画シミュレーションでは、平成22、23年度の2年間で投資額12億円という「地域ブロードバンド整備事業」の計画がされている。当事業計画（光ケーブルを家庭へ引込み、パソコンで



超高速通信が可能)の行方は当町の行政運営に大きく影響する要素でもある。行政改革を推進している中で、当事業の取り組みの現況はどうか。

町長 教育、健康、福祉を初めとする暮らしの利便性の向上や、地域産業振興を図るために必要な事業である。多額の費用をかける事業であるので、その影響をはかるための財政シミュレーションであるが、財政的な影響が仮にあったとしてもやっていかなければならない事業だと考えている。

町長 自然・景観、歴史、文化、芸能部門の紹介には、企画環境課、教育委員会等の協力が必要。お茶の手もみなどの体験、登山、地場産業を利用した食事メニューの開発など観光商品の開発や、古民家、茶工場等「まちかど博物館」となり得る地域資源の発掘には産業課、事業課との連携が不可欠である。

質問 例えば鳥田市の場合でも末端に至るまで超高速の光ケーブルを張ろうという構想はない。当町の場合、12億円もの投資はすべきでないと考えますが、早く構想を作り上げ町民の前に出すべきだ。

平成20に採択された「奥大井観光振興プロジェクト」事業についての取り組みを伺う。また、川根茶の低迷を打開するためにも観光との融合を意識して進めるべきである。

答

- 「川根本町地域ブロードバンド整備事業」は暮らしの利便性、産業振興が目的
- 「奥大井観光振興プロジェクト」への取り組みは、役場関係各課の連携で進める



鈴木多津枝議員

問

1.近隣に遅れた医療費補助拡充を
2.後期高齢者医療の影響は？
3.元気が出るお茶と観光の町に

質問 子育て支援の拡充を。

①総合計画の人口目標達成する取り組みは？②近隣に遅れた乳幼児医療費補助は694名の署名と請願に応え、ほとんどの自治体が廃止した所得制限をやめて中学卒業へ引き上げを。③国の補助拡大で支出が減る分補助拡大を。④放課後児童クラブは。⑤子育て支援センターの拡充を。⑥6園を2園にした削減額、後退した地域の子育て力補強、地区要望への対応は？

質問 年を取っても安心の町づくりを。

①見守りネットワークの拡充を。②大井川鉄道と交渉して交通弱者割引券を。③廃止を求め声絶えない後期高齢者医療制度の影響は？

質問 元気が出るお茶と観光の町づくりを。

①一番茶の生産・販売状況は？②荒廃・放棄茶園の転作、産直・販売支援を。③有機無農薬の茶業・農業支援で町の特色を。

員2名、迎えは保護者、利用料はおやつ代で1日200円。来年度本格実施に。⑤現在、桜保育園1カ所で職員2名で運営。21年度は利便性を考え休園中の藤川保育園で開設検討している。⑥6千万円削減。子どもの目線での統合、子育て力後退はない。延長・休日保育にも応えた。一方、国は育児不安や虐待の増加に対し保育所や保育士の役割を重視する保育指針を示した。当町も保育内容の充実、保育士の専門性を高めていく。

町長 ①色々な方の協力で安心して住み続けられる地域づくりを進めている。緊急時に地域の力をどう生かすか検討を進める。②町全域の交通を協議検討する法定協議会設置を検討している。住民、利用者も参画しよりよい選択をした。③被保険者は2千120人。内、保険料軽減者が61%。10月から保険料負担の被扶養者は333人で、来年3月まで均等割の1割、21年度は5割負担となる。軽減ない方に負担増があるが、軽減がある低所得者・世帯では大変軽くなる。国保会計も若干負担減る。

町長 ①共同茶工場荒茶生産で27万6千500kg。厳しい状況下、具体的把握のため農家アンケートを実施中。②具体的な支援で活力ある農業振興の町づくりを進める。③県の基準に従い安心安全な銘茶産地を進めている。有機・無農薬茶栽培認証を得た方もある。県が

町長 ①地名の若者定住で38人確保。内6人出生。今年度も4戸建設。古い町営住宅の建て替えも。同時に住みたくなる施策も取り組み進める。②県内で特に遅れていない。所得制限は必要。現状維持でいく。③他に回して使う。④10月より中央小で試行開始。休日以外の下校時、午後6時、職



親子なかよし広場



品評会茶摘み

答

1.県内でみれば特に遅れていない
2.低所得者の保険料は大変軽くなる
3.安心安全な銘茶産地進める



板谷信議員

問

- 1.当町の財政の現況は
- 2.より多数のより公平な町政を行うべきでは
- 3.総合支所基金の残金どうする

率では、起債残高が高いにもかかわらず低い結果がでていいる。これは事業実施にあたり有利な起債を活用してきたためであり、今後このような財政運営が求められる。経常収支比率の改善については、退職者の補充を抑えるとともに、行財政改革における事業の見直し等により、経常的経費の削減を図っていき



建設中の地域振興センター（総合支所）

19年度決算では当町は健全化法の4指標とも早期健全化基準に達していない健全なものである。しかし、経常収支比率は、97.1%とかなり厳しい状況である。今回の判断比率の一つである将来負担比率では、起債残高が高いにもかかわらず低い結果がでていいる。これは事業実施にあたり有利な起債を活用してきたためであり、今後このような財政運営が求められる。経常収支比率の改善については、退職者の補充を抑えるとともに、行財政改革における事業の見直し等により、経常的経費の削減を図っていき

町長 今年度から公表が義務づけられている財政健全化法からの新しい情報や、行政改革推進の動きから行財政運営の転換が求められているのではないかと。町長 今回の議会でも報告しましたが、平成19年度決算では当町は健全化法の4指標とも早期健全化基準に達していない健全なものである。しかし、経常収支比率は、97.1%とかなり厳しい状況である。今回の判断比率の一つである将来負担比率では、起債残高が高いにもかかわらず低い結果がでていいる。これは事業実施にあたり有利な起債を活用してきたためであり、今後このような財政運営が求められる。経常収支比率の改善については、退職者の補充を抑えるとともに、行財政改革における事業の見直し等により、経常的経費の削減を図っていき

町長 川根本町の特徴といえば、お茶と温泉の町ということになっている。現在の取り組みが茶業と観光を主体としていいるが、基幹産業以外を忘れていいるわけではない。

町長 川根本町の特徴といえば、お茶と温泉の町ということになっている。現在の取り組みが茶業と観光を主体としていいるが、基幹産業以外を忘れていいるわけではない。

町長 給与所得の内訳も分類しなければならぬが、決して農業が所得構成からみて少ない数字ではないという認識です。町の事業が所得割合と比例していいるかという比例していいないけれど、さまざまな波及効果とか全体的なことを考えれば、町民に納得してもらっていると思っていいる。

町長 給与所得の内訳も分類しなければならぬが、決して農業が所得構成からみて少ない数字ではないという認識です。町の事業が所得割合と比例していいるかという比例していいないけれど、さまざまな波及効果とか全体的なことを考えれば、町民に納得してもらっていると思っていいる。

町長 旧本川根だけで使える基金が残っていいるが、整理が必要では。町長 長島ダム関係の三つの基金については、一本化して起債の償還、施設の維持管理等に充当していききたい。

答

- 1.健全化法では健全だが経常収支比率は厳しい
- 2.今の町政は町民の合意を得ていいると認識
- 3.基金条例廃止し、財政調整基金に繰入れ



中田隆幸議員

問

1.学校の2学期制及び3学期制は
2.今後、学校統合は
3.空家対策・放置住宅は
撤去の助成及び防犯対策を

質問 町内の小中学校では、現在、学期制を旧本川根では二学期制を、旧中川根では三学期制で行っているが、今後この二制度で行くのか。

教育長 学期とは何かですが、一年間の教育計画を立てる時に、一年間では期間が長過ぎるので、学年を期間に区切ります。それが学期です。区切りに当たっては、児童生徒への配慮から、①教育内容の区切り。②学習活動の区切り。③生徒・教員の気分を一新して教育効果を高める区切り。又、①長期休業日との関連。②地域行事との関連。③用務の繁忙等を考えております。明治五年に学制が發布されましたが、当時、何学期かは寡聞にして存じません。明治19年に会計年度が四月始期となり四月入学と成ったのを機に、春・夏・冬休みがあったので三

学期制が主流と考えられます。さて二学期制、三学期制にも利点欠点があります。川根本町の学校管理規則では、「学期は協議して定める」とあり校長及び教育委員会が協議しております。現状ではどちらが有利と言う事もありませんので、どちらも選択できる事に成っております。

質問 教育の将来を見込んだ中で、学校統合の考え方は。
教育長 本町には、四小学校に355名、二中学



中川根中学校・中央小学校

校に228名が学んでおります。現在、小規模校ながらも子供の頑張りのもと、校長を中心とした教育集団の指導の元で、どこに出しても恥ずかしくない学校で備・財政面では、厳しい状況ですので、今後学校統合は避けて通れない課題と認識しております。

町長 基本的には教育長の認識と同じであります。学校が地域のコミュニティまた核に成っておりますので、町民・PTA・地域と議論して考えていく必要があると思います。



町内の空家

質問 町内の空家対策をお伺いしたい。
町長 当町の空家は確認しておりません。昭和55年世帯数3千638世帯、現在3千596世帯です。差引き600世帯が空家と思われま

質問 町内の空家対策は、防犯等に資金援助は、防犯対策は。
企画環境課長 現在は考えておりません。防犯対策もしていません。
町長 いわゆる人が住んでいない住宅、廃屋も含めて状況を把握して、防災上からも、所有者の責任を明確化し対応等を指導していく事も今後必要と考え、

実態調査、利活用、又防犯上も今後の課題として検討したい。

答

1.現時点では2制度で行っていく
2.将来、統合は避けて通れない課題と認識している
3.現時点では解らない、助成等は無い
調査・活用・防犯は今後検討したい

議員視察研修報告

委員長 小藪侃一郎

川根本町議員十二名 頑張るなかで、感動しは、10月7日から9日の3日間をかけて新しい地域を創る千載一遇のチャンス」ととらえ



旧山古志村 埋没住宅

志村)、長野県下諏訪町役場、飯田市(小池手造り農産加工所)の3ヶ所研修しました。

一日目は平成16年10月23日に発生した新潟中越地震により甚大な被害を受けた長岡市山古志地域(旧山古志村)の復興の道のりを

長岡市山古志支所で青木勝支所長のお話を伺いました。

都会にはない「人の絆」で「帰ろう山古志へ!」の合言葉のもと

集落再生計画案をもとに集落毎に懇談会、個別聞き取り調査、ワークショップ等を実施し

自分達のふるさとが持つ価値や役割を認識し

業」「男女共同参画

業」「男女共同参画

業」「男女共同参画

業」「男女共同参画

業」「男女共同参画

をしてくださる方が會員になりお世話を有料でおこないます)⑤絵本と手遊び(ボランティアによる読みきかせ)⑥Web支援(情報満載ホームページ)⑦育児ヘルパー(保護者の家事の応援が欲しい時ヘルパーが手伝います)⑧子育て講座(サポーター養成講座として一般町民に広く呼びかけています)

以上の事業を一つの保育園の一面を当てて実施されています。川根本町でもすでに実施されているものもありますが、包括的な支援組織は参考になります。

男女共同参画については、下諏訪町では平成11年から男女共同参画の社会づくりに積極的に取り組んでいるようですが、まだ多くの課題が残されているようです。「下諏訪町男女共同参画いきいき社会

づくり条例」は平成16年4月から施行されていますが、川根本町でも8月4日と10月3日に共同参画の講演会等開かれましたが、これからが大事であると感じました。

力を入れて来たのと、また農家が自立していくために農産物を捨てない経営方法が大切で、不良農産物を加工によって商品として販売し、農家が高収入を上げられるよう経営努力をしています。また、補助金を当てにしない経営で(もちろん行政の側面援助は感じられました)独自の改良を施し加工施設を充実し、全国各地から農産物の受託加工を請け負って、静岡県では三ヶ日のみかん↓ジュース・マーマレード、ブルーベリー↓ジュースなど、全国30県程の受託加工で(収入の7割)経営の安定を図り自社商品販売先は沿線数箇所の道の駅・アピタ飯店等でした。社長

の意気込みが従業員に伝わっていきま

した。

た。

た。

た。

た。

をしてくださる方が會員になりお世話を有料でおこないます)⑤絵本と手遊び(ボランティアによる読みきかせ)⑥Web支援(情報満載ホームページ)⑦育児ヘルパー(保護者の家事の応援が欲しい時ヘルパーが手伝います)⑧子育て講座(サポーター養成講座として一般町民に広く呼びかけています)

以上の事業を一つの保育園の一面を当てて実施されています。川根本町でもすでに実施されているものもありますが、包括的な支援組織は参考になります。

男女共同参画については、下諏訪町では平成11年から男女共同参画の社会づくりに積極的に取り組んでいるようですが、まだ多くの課題が残されているようです。「下諏訪町男女共同参画いきいき社会

づくり条例」は平成16年4月から施行されていますが、川根本町でも8月4日と10月3日に共同参画の講演会等開かれましたが、これからが大事であると感じました。

力を入れて来たのと、また農家が自立していくために農産物を捨てない経営方法が大切で、不良農産物を加工によって商品として販売し、農家が高収入を上げられるよう経営努力をしています。また、補助金を当てにしない経営で(もちろん行政の側面援助は感じられました)独自の改良を施し加工施設を充実し、全国各地から農産物の受託加工を請け負って、静岡県では三ヶ日のみかん↓ジュース・マーマレード、ブルーベリー↓ジュースなど、全国30県程の受託加工で(収入の7割)経営の安定を図り自社商品販売先は沿線数箇所の道の駅・アピタ飯店等でした。社長

の意気込みが従業員に伝わっていきま

した。

た。

た。

た。

た。

た。



小池手造り農産加工所(小池氏講話)

議 会 日 誌

- 7月**
- 1日 社会を明るくする運動街頭啓発
 - 22日 議会全員協議会
 - ／ 議員定数検討特別委員会
 - 24日 静岡県市町議会議員研修会
 - 31日 県土木事業説明会



<社会を明るくする運動街頭啓発>



<静岡市・川根本町バイパス建設期成同盟会総会>

- 8月**
- 6日 第1回臨時議会
 - 18日 第1常任委員会
 - 19日 静岡市・川根本町
バイパス建設期成同盟会総会
 - 28日 議会全員協議会

- 9月**
- 1日 総合防災訓練
 - 8日 第3回定例議会初日
 - 9日～12日 決算特別委員会
 - 13日 中中、本中体育祭
 - 16日～17日 決算特別委員会
 - 21日 中央小、第一小運動会
 - 24日 第3回定例議会最終日
 - 27日 南部小運動会



<ソバの花>

編集後記

季節はめぐり、すっかり秋の装いとなりました。町民の皆様お元気で過ごしの事と思います。

さて近年「生涯学習」という言葉をよく聞きます。その背景には日本が経済成長をとげた結果、人生の幸せとは、モノやおカネだけでなく、生涯にわたって学んでいくべき大切なことがあるのではないだろうか、人々が気づきはじめてたのではないかと思えます。人生八十年という長寿時代を迎え、老後をより心豊かに楽しく生きぬきたいと願いボランティアや地域の諸問題をどう考えるのか、変化の激しいこの時代にどう対応していけばいいのかというところから生涯学習が生れたの

だと思っています。今後川根本町が益々発展するためにみんなの手を取り合って助け合い心のかような町作りを目指したいと思います。

(Y・S)

編集委員

委員長 杉本道生
副委員長 澤畑義照
委員 山原高森 芹澤徳治
員 本田畑 照信
山本信之

* 12月議会の予定 *

- 11月28日(金) 全員協議会
- 12月 3日(水) 本会議初日
- 12月11日(木) 本会議最終日 (一般質問)

本会議はどなたでも傍聴できますので、ぜひお出かけください。